

学長特別講演会シリーズ「山形から世界へ」

日本の進路と これからの 国際協力

鶴岡
キャンパス
初開催
定員 150名

「地域創生、次世代形成、多文化共生」とのかかわりを中心に

10/25 (水)

16:30~18:00

入場無料

※事前申込が必要です

会場

鶴岡キャンパス
農学部3号館3階
301大講義室

対象

学生(高校生・大学生)・一般

プログラム

16:30 開会挨拶(山形大学長 小山清人)
16:40 講演
17:30 対談(加藤氏×小山学長)
18:00 閉会

(司会:山形大学特任教授 土井 正己)



講師

加藤 宏 氏

独立行政法人
国際協力機構(JICA)
理事

講師よりメッセージ

過去60年余にわたって日本が行ってきた国際協力/開発協力の歴史を振り返りますと、そのあり方は、国内の事情と国際的な環境の移り変わりに伴って、不断に変遷してきたことが見てとれます。そのような変化は、いま、この瞬間にも起きています。では、その変化とはどのようなものなのでしょうか? またそのような変化に応じて日本の様々な主体(政府、自治体、大学、NGO...)は、どのように、そこに関与することになるのでしょうか? このような問題について、特に日本の地域の創生や大学の役割に注目しながら、一緒に考えてみたいと思います。



◀申込みメール作成はこちらから
(リンク先よりメール作成可能)

お問い合わせ



山形大学
Yamagata University

総務部総務課広報室

TEL. 023-628-4008

www.yamagata-u.ac.jp

山形大学では 地域創生・次世代形成・多文化共生 の3つを使命として掲げ、改革を推進しています

第9回
学長特別講演会

山形大学
学長特別講演会
シリーズ



「山形から世界に通用する技術やプロダクト・学術研究を
どんどん生み出そう。そして、山形を元気にして地域創
生につなげよう」というコンセプトを広く発信し、定着
させるため、学生、教職員、高校生、一般市民を対象と
した学長主催の特別講演会を定期的を開催しています。

第9回講演

日本の進路とこれからの国際協力

「地域創生、次世代形成、多文化共生」とのかかわりを中心に



講師

加藤 宏 氏

国際協力機構 (JICA) 理事

講師プロフィール

1954年東京生まれ。東京大学文学部卒業（東洋史学専修課程）。1988年、ハーバード大学ケネディ行政学院修了（公共行政学修士）。1978年にJICA（国際協力事業団）入団の後、外務省勤務、総務課課長代理、企画課長、国内事業部長などを経て、2007年4月から国際協力総合研修所長。2008年10月のJICA研究所設立に伴い同副所長、その後2013年4月から研究所長を務める。2013年10月に理事に就任。その他、神戸大学大学院国際協力研究科客員教授、国際開発学会理事などを務める。主要著作はJapan's Development Assistance: Foreign Aid and the Post-2015 Agenda (2016) (Palgrave Macmillan. 共編著)、“Japan and Africa: A Historical Review of Interaction and Future Prospects” (Asia Pacific Review. May 2017) 等。

司会

土井 正己 山形大学特任教授

会場へのアクセス

山形大学鶴岡キャンパス（山形県鶴岡市若葉町1-23）

- ・ JR 鶴岡駅から南西へ1km（徒歩15分）
- ・ 山形駅前から（バス110分＋徒歩10分）
- ・ 仙台駅前から（バス165分＋徒歩10分）

▼申込みメール作成はこちらから
（リンク先よりメール作成可能）



申込方法

氏名（ふりがな）、年齢（学生は学校名・学年・学部・学科
など）、電話番号をご記入の上、メールでお申込み下さい。

メール送信先

山形大学広報室

koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

▼鶴岡キャンパス周辺地図

